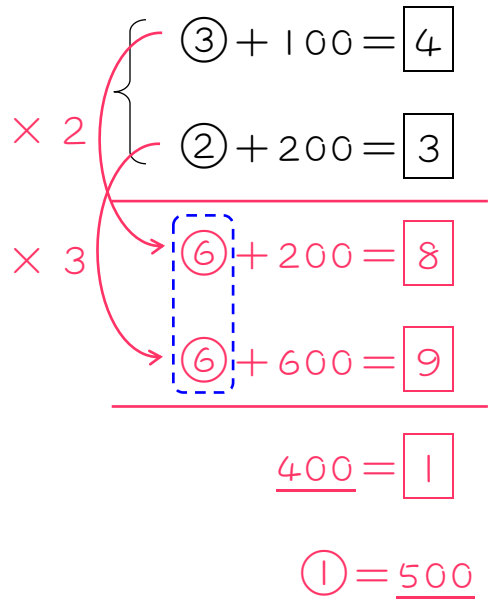
1 例にならって、①と1の値（あたい）を求めなさい。

例）



２本の式をそれぞれ何倍かして、片方の数を最小公倍数にそろえます。

＜２本の式を何倍かして、片方の数を最小公倍数にそろえる＞

(1) ②＋100＝5
③＋200＝8

(2) ④＋160＝6
③＋200＝5

例)

⑥－800＝8

⑥－600＝9

200＝1

8＝1600

⑥　＝2400

①　＝400

8と9の差は1、

－800と－600の差は200となります。

＜マイナスどうしの差をとる＞

(3)

⑥－840＝12

⑥－1000＝10

(4)

⑫－720＝18

⑫－400＝20

例)

⑩－300＝6

⑫－600＝6

②＝300

①＝150

1＝200

⑩と⑫の差は②、

－300と－600の差は300となります。

＜マイナスどうしの差をとる＞

(5)

⑧－720＝6

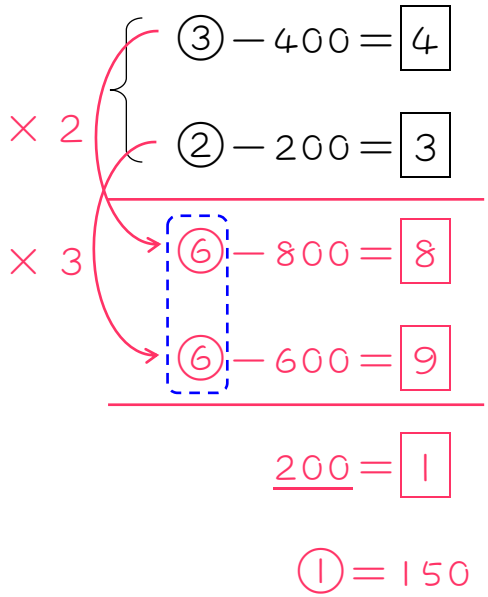
⑮－1770＝6

(6)

⑳－1560＝12

⑱－1260＝12

例)



２本の式をそれぞれ何倍かして、片方の数を最小公倍数にそろえます。

－800と－600の差は200となります。

＜マイナスどうしの差をとる＞

(7) ②－280＝4
③－500＝5

(8) ④－240＝6
③－100＝5

例）

⑤－150＝3

④－200＝2

×２

×３

⑩－300＝6

⑫－600＝6

②＝300

①＝150

1＝200

２本の式をそれぞれ何倍かして、片方の数を最小公倍数にそろえます。

－300と－600の差は300となります。

＜マイナスどうしの差をとる＞

(9)

④－360＝3

⑤－590＝2

(10)

⑤－390＝3

⑥－420＝4

例)

⑥－400＝8

⑥＋300＝15

700＝7

注意！

100＝1

①＝200

マイナスとプラスの差をとるときは、

注意が必要です。

8と15の差は7、

－400と＋300の差は700となりま

＜マイナスとプラスの差をとる＞

(11)

⑥＋300＝18

⑥－500＝10

(12)

⑫－60＝18

⑫＋120＝20

例）

⑮－300＝6

⑧＋400＝6

⑦＝700

注意！

①＝100

1＝200

マイナスとプラスの差をとるときは、

注意が必要です。

8と15の差は7、

－300と＋400の差は700となりま

＜マイナスとプラスの差をとる＞

(13)

⑧＋240＝6

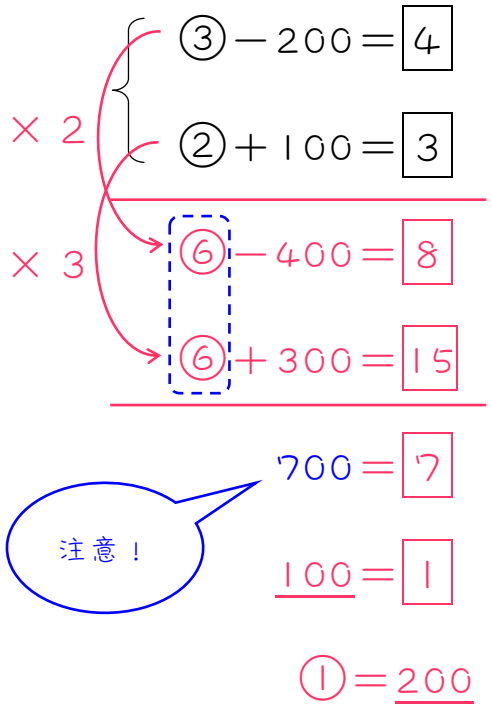
⑮－600＝6

(14)

⑳－200＝12

⑱＋ 60＝12

例)



２本の式をそれぞれ何倍かして、片方の数を最小公倍数にそろえます。

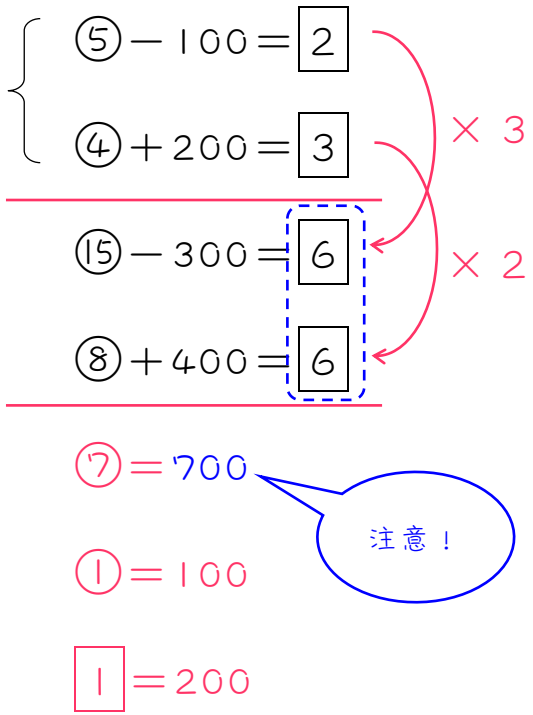
－400 と ＋300 の差は 700 となります。

＜マイナスとプラスの差をとる＞

(15) ②＋100＝6
③－250＝5

(16) ④－20＝6
③＋50＝5

例)



２本の式をそれぞれ何倍かして、片方の数を最小公倍数にそろえます。

－300 と＋400 の差は 700 となります。

＜マイナスとプラスの差をとる＞

(17) ④＋120＝3
⑤－200＝2

(18) ⑤－50＝3
⑥＋20＝4

2 ①と[1]を利用して、次の問いを解きなさい。

(1) 兄と弟の所持金の比は4：3でしたが、兄が2400円使い、弟が1000円使ったので、所持金の比は6：5になりました。兄ははじめいくら持っていましたか。

(2) 兄と弟の所持金の比は4：3でしたが、兄が200円使い、弟が500円おこづかいをもらったので、所持金の比は6：5になりました。兄ははじめいくら持っていましたか。

■ 解答 ■

1 (1) ②＋100＝5
③＋200＝8
⑥＋300＝15
⑥＋400＝16
100＝1
①＝200

(2) ④＋160＝6
③＋200＝5
⑫＋480＝18
⑫＋800＝20
320＝2
160＝1
①＝200

(3) ⑥－840＝12
⑥－1000＝10
160＝2
80＝1
①＝300

(4) ⑫－720＝18
⑫－400＝20
320＝2
160＝1
①＝300

(5) ⑧－720＝6
⑮－1770＝6
⑦＝1050
①＝150
1＝80

(6) ⑳－1560＝12
⑱－1260＝12
②＝300
①＝150
1＝120

(7) ②－280＝4
③－500＝5
⑥－840＝12
⑥－1000＝10
160＝2
80＝1
①＝300

(8) ④－240＝6
③－100＝5
⑫－720＝18
⑫－400＝20
320＝2
160＝1
①＝300

(9) ④－360＝3
⑤－590＝2
⑧－720＝6
⑮－1770＝6
⑦＝1050
①＝150
1＝80

(10) ⑤－390＝3
⑥－420＝4
⑳－1560＝12
⑱－1260＝12
②＝300
①＝150
1＝120

(11) ⑥＋300＝18
⑥－500＝10
800＝8
100＝1
①＝250

(12) ⑫－60＝18
⑫＋120＝20
180＝2
90＝1
①＝140

(13)
⑧＋240＝6
⑮－600＝6
⑦＝840
①＝120
1＝200

(14)
⑳－200＝12
⑱＋ 60＝12
②＝260
①＝130
1＝200

(15)
②＋100＝6
③－250＝5
⑥＋300＝18
⑥－500＝10
800＝8
100＝1
①＝250

(16)
④－ 20＝6
③＋ 50＝5
⑫－ 60＝18
⑫＋200＝20
260＝2
130＝1
①＝200

(17)
④＋120＝3
⑤－200＝2
⑧＋240＝6
⑮－600＝6
⑦＝840
①＝120
1＝200

(18)
⑤－ 50＝3
⑥＋ 20＝4
⑳－200＝12
⑱＋ 60＝12
②＝260
①＝130
1＝200

2 (1) はじめの兄の所持金を④、弟を③とおくと、
④－2400＝6
③－1000＝5
⑫－7200＝18
⑫－4000＝20
3200＝2
1600＝1
①＝3000
④＝12000(円)…兄

(2) はじめの兄の所持金を④、弟を③とおくと、
④－ 200＝6
③＋ 500＝5
⑫－ 600＝18
⑫＋2000＝20
2600＝2
1300＝1
①＝2000
④＝8000(円)…兄